

AC-2D601W 蓄積データの転送時、前後に文字を追加する設定

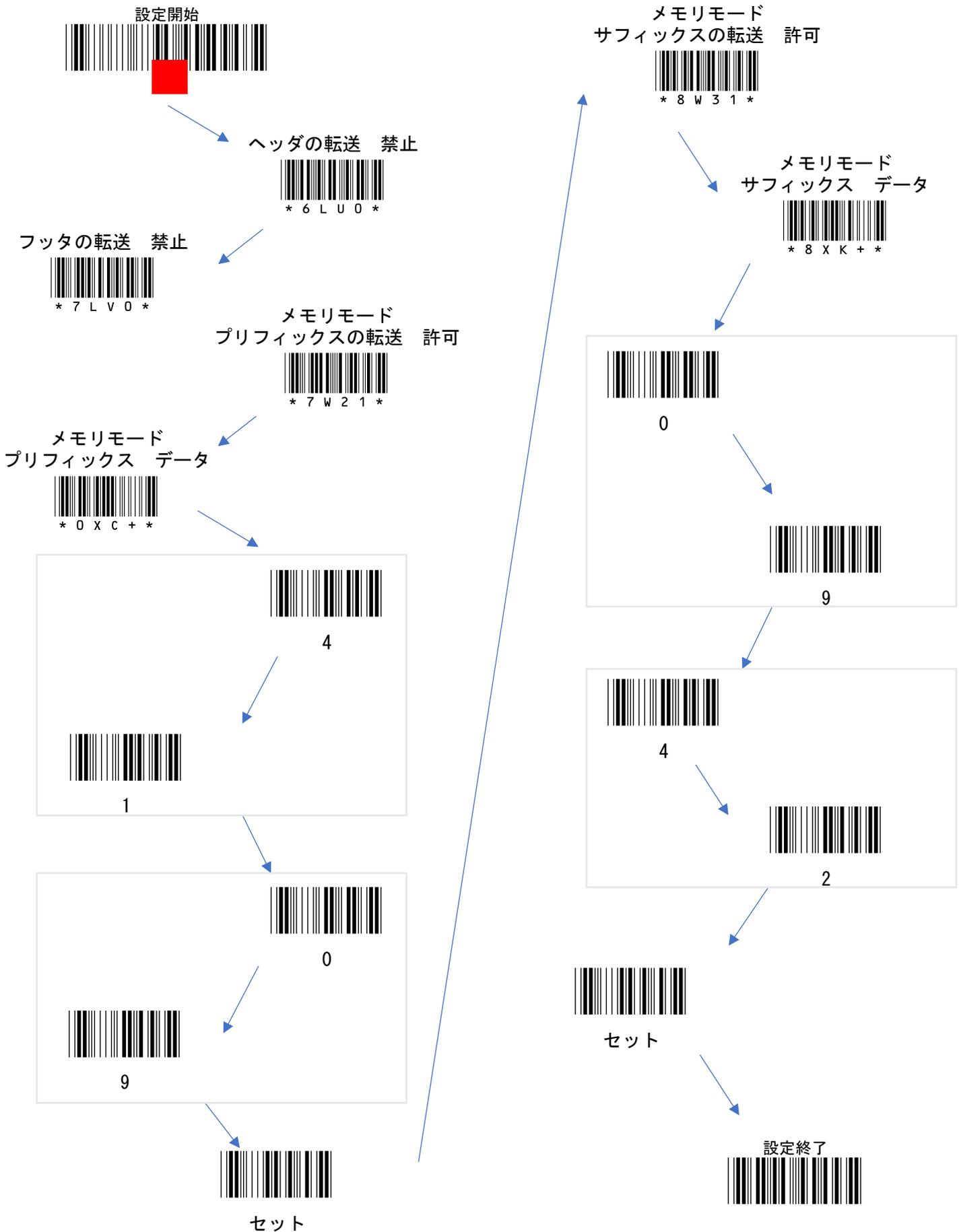
下記のように、蓄積データに文字を追加する設定メニューです。矢印の順で読み取って下さい

A Tab	(年月日 Tab 時刻 Tab)	バーコードデータ	Tab B
-------	------------------	----------	-------

※Aは41、Tabは09で設定します

※Tabは09、Bは42で設定します

※ほかの文字を設定する場合、必要な英数メニューに読みかえて下さい



説明

この設定シートで、蓄積データの前後に任意の文字を追加することができます。

- ・複数のバーコードリーダーを使い、どのリーダーで保存したデータかを見分けたい場合などに設定して下さい。
- ・データの前に追加する文字をプリフィックス、データの後に追加する文字をサフィックスと呼びます。
- ・プリフィックスとサフィックスはそれぞれ8文字（8キャラクタ）まで追加できます。文字数はTab（タブ）などの制御文字も含まれます。

<データ転送のイメージ>

プリフィックス（8文字）	バーコードデータ	サフィックス（8文字）
--------------	----------	-------------

設定シートは例としてA、B、Tab（タブキー）を追加しています。他の文字を設定する場合、アスキーコード表を参照して文字の値を確認し、その値の英数メニューを読み取って下さい。

表の見方

「C」を設定する場合、アスキーコード表の白いマス目からCを見つけます。Cは列4と行3が交差している箇所にあります。Cの値は43です。参考まで、Tabの値は09、スペースの値は20です。

例 サフィックス（データの後）にTab、C、1を設定する場合

設定シートの右側09→42と読む箇所、09→43→31と読み取ります。09がTab、43がC、31が1の値です。

※詳細は取扱説明書をお読み下さい。

※プリフィックス、サフィックスの設定はメモリモードの標準動作です。マスタストレージモードでは無効です。

文字を追加しないように戻す場合

下記メニューを読み取って下さい。



付録 アスキーコード表

アスキーコード表

L \ H	0(*)	1(*)	0(**)	1(**)
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	ESC	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

L \ H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

*USB キーボードインターフェースでの出力

**シリアルインターフェースでの出力

付録 英数メニュー

